

浙江省 2021 年 4 月高等教育自学考试

日语阅读(一) 试题

课程代码:00843

1. 请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。

2. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

选择题部分

注意事项:

每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

一、 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

文章(一)

11月15日は七五三です。七五三というのは、子供が7歳、5歳、3歳になったのを祝う日です。それで、その年の子供のいるうちでは、子供をつれて、神社へお参りに行きます。子供たちはこの日のために作ってもらった着物を着て、嬉しそうです。親は子供がこの年まで無事に成長したことを神に感謝し、また、これからも健康でよい子になるように願うのです。子供たちは「千歳飴」というお菓子を買ってもらいます。このお菓子は千年も生きるように願いを表すものです。

七五三は中国から伝わったもので、昔は貴族や武士の間で行われていました。それが江戸時代の中ごろから、広く一般の人にも行われるようになりました。女の子は3歳と7歳、男の子は5歳の時祝うのが普通ですが、地方によっては、違うこともあります。ともかく、子供が成長していくことを祝うのです。

問い1 七五三というのは何のことですか。(2点)

- A 7歳以下の子供の祝日です。
- B 7歳、5歳、3歳になった子供の祝日です。
- C 7歳、5歳、3歳になった女の子の祝日です。
- D 7歳、5歳、3歳になった男の子の祝日です。

問い2 「千歳飴」はどんな菓子ですか。(2点)

- A 千年も生きるようにという願いを表す菓子です。
- B 子供の誕生日に食べる菓子です。
- C 甘くておいしい菓子です。
- D 神社で食べる菓子です。

問い3 七五三が一般の人にも広く行われるようになったのはいつからですか。(2点)

- A 大昔からです。
- B 江戸時代のはじめごろからです。
- C 江戸時代のなかごろからです。
- D 江戸時代のおわりごろからです。

問い4 文章の内容とあっている文を一つ選んでください。(3点)

- A 七五三は、7歳以上の子供は、親に連れられて神社へお参りに行きます。
- B 昔七五三は貴族や武士の間で行われていました。
- C 七五三は中国にも伝わりました。
- D どの地方でも、女の子が3歳と7歳、男の子が5歳の時祝うのは普通です。

文章(二)

今の若い女性が理想と考える男性は昔のそれとはずいぶん違ってきた。昔はどんな時でも自分を守ってくれるような強い男性が理想で、顔や言葉の優しい男性は女のようだと言われていた。ところが、最近の女性がいいと思っているのは細くて背が高く、おしゃれで優しい男性なのだそう。そこで、男性は一生懸命自分を飾る努力を始めたようだ。中には、男性専門のおしゃれ雑誌を買って、髪の色、歩き方まで工夫する者もいるそう。そうなるといつも同じようなことを話しているように見えてしまう。これはテレビや雑誌などがいう「理想」に近くなろうとしすぎて、結局みんなが同じになってしまったためではないだろうか。

昔は、男性の考える「理想の女性」になろうと努力する女性が多かった。もちろんまだ、男性のためだけにおしゃれをしている女性もいるが、今は男性がどう考えるかをあまり問題にせず、もっと自由に自分の好きなおしゃれをしている女性が増えた。仕事やスポーツ、勉強を一生懸命やっている女性も増え、その中には、特別におしゃれをしていないのに、きれいだなと思わせる女性がいる。中から出てくる何かはその女性をきれいに見せているのだろう。きれいに見せようと外見を大切にしてきた女性が、中身を一生懸命磨き、一方、「外見より中身」と言っていた男性が外見を飾り始めたのはおもしろいことだ。

問い5 若い女性が考える「理想の男性」は今も昔と同じですか。(2点)

- A 違います。
- B 少し似ています。
- C 同じです。
- D わかりません。

問い6 昔はどんな男性が「理想の男性」と言われましたか。(2点)

- A 細くて背が高く、おしゃれでやさしい男性
- B どんな時でも自分を守ってくれるような強い男性
- C 自分を一生懸命に飾る男性
- D 雑誌をよく読む男性

問い7 昔の女性は今の女性と同じですか。(3点)

- A まったく同じです。
- B 少し似ています。
- C 違います。
- D わかりません。

問い 8 仕事やスポーツ、勉強を一生懸命やっている女性の中にはどんな人がいますか。(3点)

- A 特別におしゃれをしていないのに、きれいだなと思わせる女性がいます。
- B きれいにお化粧をしている女性がいます。
- C ぜんぜんお化粧をしていない女性がいます。
- D 美人がいます。

問い 9 男性は外見を飾り始めたのはなぜですか。(3点)

- A 中身を磨きますから。
- B 「理想の男」になろうと努力しますから。
- C みんなと同じになりますから。
- D 女性を守りますから。

問い 10 文章の内容とあっていない文の一つを選んでください。(3点)

- A 昔はおしゃれで優しい顔の男性は、女のように言われました。
- B 男性専門のおしゃれ雑誌が売られています。
- C 最近、若い男性はずいぶんおしゃれをするようになりました。
- D 女性はいつも男性のためにおしゃれをしています。

二、 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(20点)

人口はなぜ、増えたり減ったりするのだろうか？

たとえば、社会が成長する段階にあるときは、産業技術も①急速に発達して、その社会が養うことのできる人数が増えるため、人口は増える。しかし、大人になれば身体の成長が止まるように、社会がある程度成長して人々が今の生活に満足するようになると、やがて技術の進歩も止まり、社会が受け入れられる人口の数も少なくなる。やがて社会全体の人口も、自然に減っていくのである。

日本でも江戸時代の初期のころは、社会が安定していて、農業の技術も急速に進歩した。人口は1200万人から120年の間に3100万人まで、一気に3倍近くなったと言われている。が、中期になって、技術が一定レベルに達すると人口が減少し始めて、明治維新までほとんど増えなかったのである。その後、近代工業文明が発展し、一定レベルに達した現在も、人口が増えなくなった状態だと言われている。

そして、2005年、ついに日本の人口は減少し始めた。このまま行けば、50年後には、半分の人口になってしまうと言われている。確かに、これまで以上に日本の経済が発展することは考えられないだろう。

厚生労働省の発表では、2004年の合計特殊出生率は1.289で、過去最低の記録であった。②少子化は進む一方で、反対に65歳以上の高齢者は増える(a)一方だ。5人に1人は③高齢者と言われる日本は、まさに少子高齢化社会なのである。

このように人口が減少していく社会では、考え方を変える必要がある。「少子高齢化ではなく、『増子中年化』と考えよう」と提案するのは古田隆彦、青森大学教授。

高齢化といっても、平均寿命が大きく延びているため、今の60歳の人の体力や知力、昔の人の40~50歳ぐらいと同じである。(ア)、60歳を過ぎてもまだ老人ではなく、中年だということだ。また、④寿命が延びている分だけ、少年期も延

びている。つまり、生まれてから25歳ぐらいまでが「子供」となるというのである。それまでは、社会に出る前の勉強をしなければならないということだ。

増えた「中年たち」には働く場所を用意すれば、労働力は減らないだろう。また、増えた「子どもたち」がじっくり学べる場所を用意すれば、専門知識も高まり、日本経済の⑤きょうそう力も高まるにちがいない。

出生率の低下についても、男性の⑥いくじ参加を進めて、女性が仕事と子育ての両方を安心してできるようにすれば、男女差別のない社会を作るきっかけになるだろう。

少子高齢化の進んだ日本が、新しいシステムを作ることができれば、きっと国際影響力も増すことだろう。日本の社会は、今、大きく変わろうとしているのである。

(注) 中年：40歳～50歳後半の人のこと

下線①～④の語はどのように読むか、その読み方をA～Dの中から一つ選びなさい。

(1×4=4点)

問い11 ① 急速 A きゅうそく B きゅうぞく C きゅそく D ぎゅぞく

問い12 ② 少子化 A しょうこか B しょじか C しょうしか D しょこか

問い13 ③ 高齢者 A こうれしゃ B こうれいしゃ C これしゃ D これいしゃ

問い14 ④ 寿命 A しゅめい B じゅめい C じゅみょう D しゅみょう

下線⑤、⑥の語はどのような漢字になるか、A～Dの中から一つ選びなさい。

(1×2=2点)

問い15 ⑤ きょうそう A 競走 B 競争 C 強壯 D 狂想

問い16 ⑥ いくじ A 幾時 B 育児 C 生地 D 生子

問い17 (a) 「一方」の使い方と同じものを一つ選びなさい。(2点)

A 老人が増える一方で、子供の数が減ってきている。

B ほめる一方、悪口を言う。

C 家賃の高さ、物価の上昇、公害など、東京は住みにくくなる一方だ。

D 工業を発展させる一方、農業も発展させなければならない。

問い18 筆者は、人口が増える原因は何だと言っているか。(2点)

A 人々が今の生活に満足するから。

B 産業技術が急速に発達するから。

C 社会が受け入れられる人の数が減るから。

D 技術の進歩はやがて止まるから。

問い19 江戸時代の日本の人口はどうだったか。(2点)

A 初期から終わりまで増えつづけた。

B 初期から中期まで急速に増え、その後もゆっくり増えつづけた。

C 初期から中期まで急速に増えたが、その後は増えなかった。

D 初期から中期まで増えつづけたが、その後は減る一方だった。

問い 20 現在の日本の人口はどのような状態ですか。(2点)

- A 子供も高齢者も減る一方で、ついに全体の人口が減少に転じた。
- B 子供も高齢者も増える一方なので、全体の人口は増え続けている。
- C 子供は減る一方だが、高齢者は増え続けているため、全体の人口は増え続けている。
- D 高齢者は増え続けているが、子供が減る一方のため、ついに全体の人口が減少に転じた。

問い 21 「増子中年化」とは、どういう意味か。(2点)

- A 子供を増やし、老人だけでなく中年も増やすべきだという考え方。
- B 寿命が延びているため、少年期も中年期も伸びているという考え方。
- C 都市では、少年の人口も中年の人口も実際に増えているということ。
- D 少子高齢化社会はやがて増子中年化社会に変わるだろうということ。

問い 22 (ア)に入る最も適当な言葉はどれか。(2点)

- A つまり
- B それ
- C さて
- D しかも

問い 23 筆者の主張と合っているものはどれか。(2点)

- A 今後、労働人口が減少するため、日本経済の競争力は弱まるにちがいない。
- B 人口が減少していく社会では、新しい考え方が必要である。
- C 女性差別のない社会を作れば、子供の数も増えるにちがいない。
- D 少子高齢化を解決するためには、女性が子育てをしなければならない。

三、 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

ヒキガエルは、体の色や形が気味悪く、あまり気持ちのいい動物ではない。(①)、人に嫌われることが多い存在なのだが、本当は人間にとってたいへん役に立つ動物なのである。

ヒキガエルは、青虫、が、イナゴ、か、ハエ、ナメクジ、ダニなど、(a)農作物や家畜に害を与えるものを、(b)片っ端から食べてくれる。だが、あの動作の鈍いヒキガエルが、いったいどのようにしてこれらの小動物を退治するのであろうか。

あるとき、科学者が、ヒキガエルがか獲物を取るところをカメラに収めようとして、その前にミミズを置いた。(②)、カメラを覗くと、もうミミズはなかった。ほかに誰もミミズに触れた者はいないし、ヒキガエルが動いた様子もないのに、ミミズは影も形もない。まるで、(c)蒸発してしまったかのようだ。再度ミミズを置き、急いでカメラを覗いたが、今度もやっぱりミミズはなくなっていた。ヒキガエルは同じ所に(d)平然と腰を下ろし、何かを飲み込んでいた。

ヒキガエルがミミズを取ったことは容易に推測できるのだが、その(e)早業の秘密を観察することができない。(③)、特別な(f)装置を作り、毎秒三百こまの高速カメラで撮影した結果、やっとそのなぞが解けた。

ヒキガエルの武器は、舌である。それは、ぴんと伸ばしたゴム紐のように、口から飛び出してミミズに触れたかと思うと、たちまちのうちに戻っている。ヒキガエルの舌は、最高十センチメートル離れた所にある獲物を捕らえることが可能であり、しかもこの動作にかかる時間は、わずか十五分の一秒である。そのため、人間の目には映らないのである。

さらに研究を進めると、ヒキガエルは大変すばらしい射手であることが分かった。普通、ヒキガエルは動いている生きた動物だけを取り、死んだ動物には見向きもしない。目がその場の様子を正確に捕らえ、判断し、重要な情報だけを脳に送る。例えば、ハエが近くを飛んでも、舌の届かない所であれば、目は脳に情報を送らず、まるで目に入らないかのように、ヒキガエルはじっとしている。(④)、いったん舌の届く距離に入ったとたん、素早く動く虫でも一発で仕留めてしまう。

このようなヒキガエルの動きはアメリカ、ブラジル、オーストラリア、フィリピンなど、世界の多くの国々で利用されている。

例えば、ブラジルでは、全長二十二センチメートルもある大きなヒキガエルが育成されており、(g)果樹や野菜の害虫退治に大きな役割を(h)はたしている。このヒキガエルはニューギニア島やフィリピンなどにも輸入され、サトウキビ畑を荒らすコガネムシの幼虫退治に大(i)かつやくをしている。

ヒキガエルは姿形が醜いだけでなく、人間に(j)ふこうをもたらす縁起の悪い動物だという俗説が古くからあった。(⑤)、本当はさまざまな害虫に対するまたとな天敵であって、人間に幸福をもたらす動物なのである。

下線(a)～(g)の語はどのように読むか、その読み方をA～Dの中から一つ選びなさい。(1×7=7点)

問い24 (a)農作物

- A のうさくぶつ B のうさくもの C のうざくぶつ D のうざくもの

問い25 (b)片っ端

- A かたっはし B かたっぱし C かたったん D かたっだん

問い26 (c)蒸発

- A じょはつ B じょうはつ C しょうはつ D しょっぱつ

問い27 (d)平然

- A へんねん B へんぜん C へいねん D へいぜん

問い28 (e)早業

- A そうぎょう B はやわざ C そうわざ D はやぎょう

問い29 (f)装置

- A そっち B そうち C そち D そうっち

問い30 (g)果樹

- A かじゅう B かじゅ C くだじゅ D くだじゅう

下線(h)～(j)の語はどのような漢字を書くか、その漢字をA～Dの中から一つ選びなさい。(1×3=3点)

問い31 (h)はたして

- A 実して B 果たして C 葉たして D 適して

問い32 (i)かつやく

- A 克訳 B 勝訳 C 活躍 D 勝躍

問い33 (j)ふこう

- A 不孝 B 不幸 C 不効 D 負効

文中の①～⑤に何を入れるか、ABCDの中から一番いいものを一つ選びなさい。(1×5=5点)

問い34 ① A でも B そして C だから D しかし

問い35 ② A そこで B そして C だから D でも

問い36 ③ A そこで B そして C これから D しかし

問い37 ④ A だから B ところが C ところで D そこで

問い38 ⑤ A しかし B だから C ところで D そこで

問い39 文中にある「ミミズに触れたかと思うと、たちまちのうちに戻っている」の意味として、次のうち、どれが最も正しいか。(2点)

- A ミミズに触れてから、しばらくして戻ってきた。
B ミミズに触れるやいなや、戻ってきた。
C ミミズに触れようとしたが、触れずにすぐ戻ってきた。
D ミミズに触れないで、戻ってきた。

問い40 「天敵」という言葉はどういう意味か、次の中から最も適当だと思っものを
選びなさい。(2点)

- A ある生物にとって害敵となる生物。
B 人間にとって役に立つ生物。
C 天から降りてきた生物。
D ある生物にとって役に立つ生物。

問い41 ヒキガエルの武器を、次の中から選びなさい。(2点)

- A 歯
B 足
C 目
D 舌

問い42 ヒキガエルの俗説について、次のどれか、一つ選びなさい。(2点)

- A 人間に幸福をもたらす動物
B ふこうをもたらす縁起の悪い動物
C 気持ちのいい、可愛い動物
D 頭がいい動物

問い43 筆者が述べようとしている要旨として、次のどれか。(2点)

- A ヒキガエルは役に立つ動物である。
B ヒキガエルは舌の素早い動物である。
C ヒキガエルは世界の多くの国々で利用されている動物である。
D ヒキガエルはあまり気持ちのいい動物ではない。

非选择题部分

注意事项:

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上,不能答在试题卷上。

四、 次の文章 1、2 を中国語に訳しなさい。(30点)

問い 44 2007年中学校を30日以上欠席した「不登校」生徒は2.86%と過去最大の割合だった。一クラスに一人という数だ。家族だけで苦悩させず、多様な方法で対応しなくてはならない。

文部科学省によると、不登校の中学生の割合は現行の調査方式に変わった1991年から増加した。2001年に2.81%となったが、翌年度からの四年間は2.7%台にとどまっていた。

しかし、2007年は38人に一人と、過去最多の割合だった。一クラスに一人は不登校の生徒がいるというのは深刻な問題だ。

学校に行こうと自宅の外に出たとたんに足が動かない。朝を迎えると吐き戻してしまう。同級生と会うのが怖い。「学校に行かなくては」との思いがあるから苦しみは深い。(15点)

問い 45 日本では、北海道を除いて、6月から7月にかけて、しとしとと雨の日が続きます。この時期を梅雨と言います。梅雨の時期は気温が高く、湿度も高いので、とても蒸し暑く感じます。ですから、日本に住んでいる外国人は、たいてい「梅雨は苦手だ。」と言います。涼しくて乾燥した土地に育った人たちは、特に「蒸し暑くてたまらない。」と言います。日本人は昔から梅雨に悩まされてきました。そして、蒸し暑い気候の時でも快適に暮らすことができるように、いろいろな工夫をしてきました。その工夫が一番よく現れているのは、日本の伝統的な家屋でしょう。(15点)